

全鉄連流通動態調査結果表平成21年11月分

(21.12.25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前 月 在 庫 量		仕 入 れ 量		販 売 量		月 末 在 庫 量		
		10月実績	前月比%	11月実績	前月比%	11月実績	前月比%	11月実績	前月比%	
異形棒鋼	東京	27,075	100.5	60,436	100.7	60,336	100.8	27,175	100.4	
	大阪	8,092	93.0	20,739	91.8	20,931	90.2	7,900	97.6	
	愛知	6,199	85.6	5,125	181.7	5,131	132.8	6,193	99.9	
	計	41,366	96.5	86,300	101.0	86,398	99.4	41,268	99.8	
形鋼	山形鋼	東京	19,708	98.5	8,187	92.3	8,915	97.2	18,980	96.3
		大阪	15,500	106.4	8,498	82.7	9,199	101.7	14,799	95.5
		愛知	10,956	96.5	5,022	95.0	6,248	110.0	9,730	88.8
		計	46,164	100.5	21,707	88.9	24,362	101.9	43,509	94.2
	溝形鋼	東京	12,535	105.9	5,710	84.5	6,684	110.3	11,561	92.2
		大阪	12,811	121.5	5,415	60.4	6,467	102.1	11,759	91.8
		愛知	6,298	98.5	3,088	88.9	3,594	100.7	5,792	92.0
		計	31,644	110.0	14,213	74.1	16,745	104.9	29,112	92.0
	H形鋼	東京	33,594	99.5	19,021	104.0	18,297	99.1	34,318	102.2
		大阪	48,253	103.7	24,629	75.2	31,895	109.0	40,987	84.9
		愛知	18,284	98.7	10,191	85.4	10,506	86.3	17,969	98.3
		計	100,131	101.3	53,841	85.5	60,698	101.3	93,274	93.2
合 計		177,939	102.5	89,761	84.2	101,805	102.0	165,895	93.2	
コ ラ ム	東京	8,372	98.9	2,661	100.0	2,478	89.9	8,555	102.2	
	大阪	11,043	107.1	2,295	62.3	2,963	107.0	10,375	94.0	
	愛知	4,364	96.8	1,789	119.5	1,926	117.5	4,227	96.9	
	計	23,779	102.2	6,745	86.0	7,367	102.8	23,157	97.4	
軽量C形鋼	東京	3,187	102.1	2,108	76.8	2,344	87.5	2,951	92.6	
	大阪	1,957	88.8	1,719	90.8	1,623	82.8	2,053	104.9	
	愛知	1,857	97.6	809	82.8	1,051	102.8	1,615	87.0	
	計	7,001	96.8	4,636	82.5	5,018	88.7	6,619	94.5	
総 計		250,085	101.3	187,442	91.2	200,588	100.5	236,939	94.7	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京 38、大阪 26、愛知 15、合計 79社

※この資料は経済産業省、鉄路関係者、報道機関のほか、調査対象会社および全鉄連傘下各地区団体の代表者・事務局長のみに配付しております。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品目ながら市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しを提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種に、コラムを追加②調査対象品種よりブレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数値をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。